

女性の成長と活躍を通して お客様の満足向上につなげたい

営業職に続き、技術職の リーダー育成にも注力

積水ハウスでは、女性目線を生かした住まいづくりの提案に早くから注目し、女性営業職や技術職の積極的な採用・育成に努めています。2006年には、「女性活躍推進グループ」が発足。営業職を中心に、女性がより力を発揮し、成長できる機会と環境の整備を行ってきました。昨年2月には、あらゆる職種あらゆる階層で女性が活躍できる組織づくりを目指し、「ダイバーシティ推進室」を設置。リフォーム事業では、すでに2人の女性役員が誕生していますが、女性管理職の育成や登用にもさらに力を入れていきたいと考えています。

その取り組みの一つとして新たにスタートしたのが、「積水ハウス ウィメンズ カレッジ」です。経営的視点を持つ女性技術職の育成を目的とした研修で、全国から選抜された20人が参加。2年間で、リーダーに必要なビジネススキルを養成していきます。

日経ウーマノミクス
プロジェクト

積水ハウスは「日経ウーマノミクス・プロジェクト」を応援しています。

日経ウーマノミクス・プロジェクト

テーマアップした問題解決にも挑み、最終的には経営陣に対し成果をプレゼンテーション。現在、1期生が意欲的に学んでいます。

結婚・出産・育児などの経験に 基づく提案が求められている

さらに、これまで配置の少なかった女性現場監督を増員する方針も打ち出しました。全国的にその数は着実に増えており、「工事現場がきれいになった」「相談しやすい」といったお客様の声も届くなど、非常にいい効果が生まれています。また、女性がライフイベントを大切にしながら、キャリアアップを図るためには、上司や周囲とのかわり方も重要です。そこで、育児休暇や短時間勤務といった制度をどのように活用すべきかを解説したガイドブックを作成し、全社員に配布しました。職場での具体的な対応だけでなく、男性の家庭進出や育児参加を促すきっかけになればとも考えています。

設計や営業においても、結婚・出産・育児などの経験に基づいた提案を求められるお客様は増えています。そして、そういった多様なニーズに応えられる人材力と技術力こそが、当社の強みです。女性本人の仕事への意欲を喚起すると同時に、お客様により満足いただける商品やサービスの提供につながるよう、女性活躍の推進に向けさらなる努力を続けていきたいと思っています。

女性活躍推進に優れた企業の証 2015年「なでしこ銘柄」に2度目の選定

東京証券取引所と経済産業省が共同で、女性が働き続けるための環境整備を含め、女性人材の積極的な活躍を進めている企業を「なでしこ銘柄」として選定。積水ハウスは、2013年2月に住宅・建設業界で初めて選ばれ、15年3月、「なでしこ銘柄」に再び選定されました。女性のキャリア支援、仕事と家庭の両立支援、自己資本利益率などが選定基準となっています。



凛と、笑顔で、輝く

自分らしさを力にし、キャリアアップを目指す
積水ハウスの女性たち。
住まいづくりのプロとして活躍しています。



伊藤 みどり

積水ハウス
経営企画部 ダイバーシティ推進室長
いとうみどり 一般職の展示場接客担当から1984年注文住宅の営業職に転換。2006年から女性活躍推進グループリーダー、14年2月より現職。

①「積水ハウス ウィメンズ カレッジ」では、阿部社長から期待の言葉が贈られた。②家事や育児の経験などを反映させた人気商品「コードモイドコロ」。③現場監督として活躍する女性も増えている。④育児と仕事を両立させ、店長に抜擢された女性も。